

公益財団法人第五福竜丸平和協会

平成22年度事業報告

平成22年4月1日～平成23年3月31日

当該年度は、ビキニ環礁が世界遺産（文化遺産）に登録され（7月）、また、第五福竜丸展示館とこれを管理運営する当法人が第1回焼津平和賞を受賞した（5月）ことにより第五福竜丸が改めて注目を浴びた。

世界遺産登録に関しては、8月に当法人の学芸員のインタビュー・コメントを含め朝日（社会・天声人語）、静岡、長崎各紙、NHK、日本テレビ、フジテレビ、テレビ朝日などで紹介された。また、9月23日には「第五福竜丸再注目 ビキニ世界遺産契機」と題する共同配信記事として地方紙多数に掲載された。

1. 公益目的事業

ア 展示、保存対策

当期は第五福竜丸展示館は定められた休館日を除き308日開館した。来館者総数は117,329人、うち団体見学数750団体で、小学校103校7,014人、中学校204校11,188人、高校73校786人、その他団体327団体6,903名であった。

3月11日の東日本大震災以降は見学予定校のキャンセルが続いた。

海外からはアメリカ、ベルギー、トルコのほか、早稲田大学及び東京工業大学の留学生、コンピュータ言語学会国際シンポジウム参加者（2月26日、64名）、外務省主催・フォーリン・プレスセンターの招聘で来日した報道関係者（3月13日、9名）などが来訪した。

東京大学、早稲田大学、東京海洋大学、國學院大學、東洋大学、立命館大学、同志社大学、大阪市立大学など多くの大学から教授、関係研究者・職員、ゼミ学生、サークル学生が見えた。

久保山愛吉さんの長女みや子さんの一家、元乗組員高木兼重さんの次女と親戚の方、西脇安氏の助手だった古久保俊子氏、元国立東京第一病院医師渋谷敏三（現89歳）の弟など、ゆかりのある方々を迎えた。

日塔和彦評議員の紹介で、筑波大学松井敏也准教授（世界遺産専攻保存科学）が大学院学生とともに来館、第五福竜丸船内を視察、船

体環境チェック用温湿度計を船体 3 ヶ所に設置、その後温湿度計の作動状態のチェックのために見えた。また、松井氏はエンジン破片へのタンニン酸ペースト塗布試験のため破片を持ち帰った。

8月に、埼玉の青年有志によるエンジンへの錆止め薬塗りが行われた。錆塗りの中心メンバー中村雄太君が朝日新聞「五線譜」で紹介された(4月8日夕刊)。

展示館の空調を一新する工事が9月よりはじまり1月初めまでかかり完了した。

イ 企画展と資料収集

前年度からの黒田征太郎展「核なき地球へのメッセージ」は4月4日まで延長して行われた。

当該年度の第1回展示替えは「原爆の子・片岡脩 平和ポスター展」として5月9日より9月23日まで実施、会期中は片岡さんの同窓生、教え子、友人の来館も多かった。この企画展は東京新聞(5月15日)、毎日新聞東京版(5月31日)、朝日新聞都内版(6月18日)、中国新聞(5月10日)、沖縄タイムス(5月11日)などで紹介された。

初日の5月9日にコンサート「原爆小景—ヒバクシャとともに」(指揮 林光、合唱 東京混声合唱団、ピアノ 寺嶋陸也)が第五福竜丸展示館内で行われ、200名が参加した(ヒバクシャ50名招待)。事前に東京新聞が林氏のインタビュー記事を掲載した(4月19日)。

第2回は特別展「イケナイ世界遺産ビキニ環礁」(企画・構成 豊崎博光、監修 岩垂弘)として10月20日より3月20日まで、10月に朝日、東京、共同配信でお知らせと紹介があった。

長田真紀氏よりロシア語版『原爆の子』が寄贈された。

前川立夫氏よりビキニ事件当時尼崎市塚口中央市場に貼られた「水爆マグロは当地では販売されませんでした。当店で売られている魚類はみ

な心配ありません」と書かれたポスターが寄贈された。

12月に土井全二郎氏が来館、同氏の著書『きのご雲の証言』（1975年7月、新国民出版社）を文庫本化した『ビキニ核実験はいかに行なわれたか』（2010年2月、光人社）の寄贈を受けた。

ウ 巡回展への協力

当期は下記など 35 会場の巡回展に展示パネル・資料貸出、講師の派遣などで協力した。

大型展

7月24日～8月1日	東京・多摩市平和展（市主催）
8月9日～8月22日	北海道・神田日勝美術展
2月26日～4月30日	埼玉・丸木美術館

各種資料展

3月12日～4月10日	生協ヘルスコープおおさか 富田林市
4月6日～4月14日	岩手・宮古市 岩間
7月21日～26日	原爆展（西宮市、原水爆禁止西宮協議会）
7月22日～7月24日	平和への祈り展（鈴鹿市）
7月27日～8月8日	愛知・豊田市
8月3日～8月9日	北海道・帯広市（市主催）
8月3日～8月15日	長崎・ブリックホール（黒田征太郎 フクリュウマル+ピカドン展）
8月5日～8月9日	神奈川・大和市（市主催）
8月6日～8月13日	愛知・稲沢市（市主催）
8月10日～8月15日	平和のための富士戦争展（ロゼシアター 展示室、実行委員会）
8月24日～9月23日	静岡・浜松市（湖西市・浜松市内病院3ヶ所巡回）
11月13日～14日	東京・大田区（新婦人の会）
12月1日～12月4日	静岡・焼津市立黒石小学校
12月3日～5日	東京・新宿、平和のための戦争展
1月6日～2月25日	静岡県内7ヶ所巡回（県主催）
2月26日～3月5日	東京・調布東公民館（市主催）
3月1日～3月30日	奈良・大和高田市（土庫病院）

エ 普及・広報活動

焼津平和賞受賞の記念会が10月16日に学士会館で開催され、焼津市長の清水泰氏をはじめ各界から100名以上が参加した。

この受賞は5月31日の選考委員会において全員一致で決定、6月13日に上京した焼津市長より伝えられた。6月30日の焼津市文化センター大ホールでの授賞式には川崎昭一郎代表理事、山本義彦理事、安田和也事務局長が参列した。静岡新聞（6月1日付）ほか朝日、読売の地元版、NHK静岡などで報道された。

なお、焼津平和賞受賞記念会に先立って10月16日に顧問、評議員、監事、理事による懇談会を行った。

当期の3・1ビキニ事件記念行事として2月26日に市民講座を開催し、大石又七氏が「57年目に訴えたいこと」を語り、豊崎博光氏（フォト・ジャーナリスト）が「世界遺産ビキニ環礁から広がる〈死の灰〉」と題してアメリカ側の資料をもとに詳細な報告を行った。参加者は120名。

日本ユネスコ協会連盟の雑誌『世界遺産年報2011』で第五福竜丸が紹介された。

恒例の「お花見平和のつどい」は4月4日に、満開の八重紅大島桜のもとで行われた。

9月23日は雨天だったが、久保山忌句会、東京原水協「第五福竜丸のつどい」、「平和を語る第五福竜丸の集い」が行われた。

学芸員市田真理がエッセイ集『ポケットの中の平和』を刊行し、毎日、北海道、静岡、京都などで紹介された。

2. その他の事業

焼津平和賞受賞を記念してバンダナ〈調和の海〉（ラッキードラゴン・クインテット第三楽章のタイトル）を制作した。

特別展「イケナイ世界遺産」のために黒田征太郎氏が描き下ろしたイラスト作品12点により構成されたパンフレット『BIKINI MEMO』を発行した。

その他既刊刊行物を一定部数販売した。

3. 法人の管理運営

当期は、以下の通り諸会議を開催した。

5月15日	理事会
5月22日	定時評議員会
9月18日	理事会
3月19日	理事会

長年当法人の監事を務めた清水幹雄氏が8月に亡くなり、後任の監事に浦野広明（税理士）氏が就任した。

賛助会員等の異動は下表の通りである。

	2010.4.6	2011.3.31
賛助会員 個人	379	377
団体	61	61

	2010.4.6	2011.3.31
ニュース購読会員	57	58